

ShinEtsu

信越シリコーン

建築・土木・プラント用

コーティング材



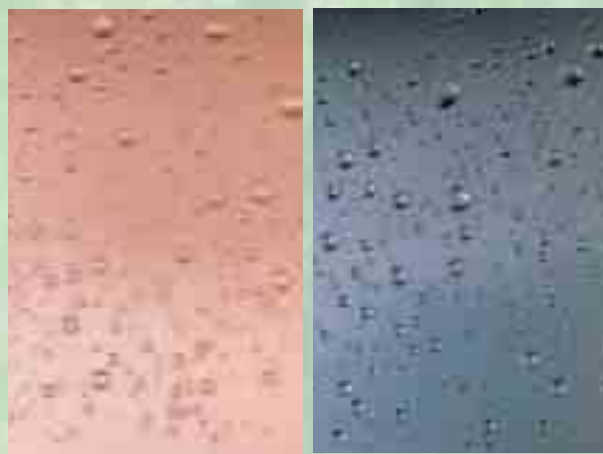
耐久性、耐候性に優れた 高性能コーティング材

信越シリコンコーティング材は、コンクリート、モルタル、金属屋根などの面防水用に開発された〈一夜型〉コーティング材です。塗布することにより基材面に確実に接着してシリコンゴムの塗膜を形成し、雨水の浸水を防ぎます。このため、基材の防錆、防蝕にも絶大な効果を発揮します。

信越シリコンは、多彩な製品群で建築・土木分野のさまざまなニーズにお応えします。



Sコート57のゴムシート



Sコート57を金属板へ塗布した時のはっ水性

目次

■ 種類・特長	2
■ 製品特性・用途	3
■ 施工手順	5
■ 荷姿	6
■ プライマー	6
■ 取扱い上の注意事項	6

種類・特長

種類

製品名	タイプ
Mコート56	水性
Sコート57	溶液
Sコート58	溶液

特長

1. 耐熱性・耐寒性

耐熱・耐寒性にすぐれ、-40 ~ +150 の幅広い温度範囲にわたって、ゴム弾性を保持します。

2. 耐久性

日光、風雨、紫外線、オゾンなどに対し、きわめて安定した特性をそなえ、長年暴露された後でもゴム特性には変化が少なく、ひびわれ、ふくれ、変色などの劣化はみられません。

3. 防水性

塗膜としてできたシリコンゴムは、表面張力が小さく、はっ水性、防水性にすぐれています。

4. 作業性

1液型ですので作業性にすぐれています。はけ塗り、ローラー塗り、スプレー塗り（エアレスタイプ）が可能です。

5. 接着性

ほとんどの材質によく接着します（しかし、材質によっては接着力が不足することがありますので、プライマーの併用をおすすめします）。

6. 通気性

塗膜としてできたシリコンゴムは、ガス透過率が大きく、水蒸気等のガスをよく通します。

Mコート56 (水性タイプ)

水性タイプですから水で簡単に希釈でき、手軽にシリコンゴムのコーティングができます。

用途

- 建屋外壁の塗膜防水
- 壁・屏の貼紙防止用コート
- 各種建材への耐候性、防水性付与
- 建屋屋上の塗膜防水
- コンクリートなどの塩害防止用コート

硬化前の特性		硬化後の特性	
性状	水性エマルジョン型	外觀	シリコンゴム
外觀	ペースト状乳濁液	密度 23	1.36
比重 23	1.15	硬さ デュロメータA	45
有効性分 (%)	53	引張強さ MPa	1.6
粘度 Pa·s	5	切断時伸び (%)	600
溶媒	水		
指触乾燥時間 (分)	120		
色の種類	アイボリー、グレー、赤、青、緑		

(規格値ではありません)

Sコート57 (溶液タイプ)

溶液タイプですが、塗膜のゴムシート強度はMコート56より強く、防錆効果も発揮します。

用途

- 金属屋根の防錆：防蝕コート
- 建屋屋上の塗膜防水
- タンク面の防錆：防蝕コート
- 金属、コンクリートなどの塩害防止用コート
- 各種設備プラントのライニング
- 各種建材への耐候性、防水性付与

硬化前の特性		硬化後の特性	
性状	溶液型(ゴム)	外觀	シリコンゴム
外觀	ペースト状溶液	比重 23	1.51
比重 23	1.25	硬さ デュロメータA	60
有効性分 (%)	75	引張強さ MPa	2.9
粘度 Pa·s	5	切断時伸び (%)	230
溶媒	キシレン		
指触乾燥時間 (分)	20		
色の種類	アイボリー、グレー、赤、青、緑		

※Sコート57の詳細については、技術資料がありますので、ご請求ください。

(規格値ではありません)

Sコート58

透明度の高い光沢のあるトップコート材です。

用途

- Mコート56、Sコート57のトップコート
- 各種塗料および塗膜材のトップコート
- タイル、金属などのつや出し

硬化前の特性		硬化後の特性	
性状	溶液型(ワニス)	外觀	シリコンワニス
外觀	無色透明溶液	比重 23	1.15
比重 23	0.96	硬さ デュロメータA	93
有効性分 (%)	50	引張強さ MPa	6.0
粘度 mPa·s	7	切断時伸び (%)	130
溶媒	トルエン		
指触乾燥時間 (分)	3		
色の種類	クリアー		

(規格値ではありません)

Mコート56・Sコート57の特性試験

ウェザーメーターによる紫外線照射試験

(JIS K 6249)

照射時間(h)	Mコート56			Sコート57		
	硬さ デュロメータA	引張強さ MPa	切断時伸び (%)	硬さ デュロメータA	引張強さ MPa	切断時伸び (%)
初期	45	1.6	600	55	2.9	230
200	48	1.7	580	53	2.8	220
600	44	1.8	630	52	2.8	210
1200	49	1.7	620	51	2.9	220
2200	50	1.7	590	52	3.0	210

(照射後の外観には異常は認められません)

耐薬品性

(JIS K 6249)

特性	Mコート56			Sコート57			試験条件
	硬さ デュロメータA	引張強さ MPa	切断時伸び (%)	硬さ デュロメータA	引張強さ MPa	切断時伸び (%)	
ブランク	45	1.6	600	58	2.9	210	—
耐水性	48	1.4	570	56	2.7	210	50 × 168hr
耐酸性	49	1.4	560	54	2.8	220	2% H ₂ SO ₄ 溶液 20 × 168hr
耐アルカリ性	41	1.4	550	57	2.7	210	0.5% NaOH溶液 20 × 168hr
耐塩水性	46	1.5	590	55	2.8	210	10% NaCl溶液 20 × 168hr

恒温乾燥機による加熱試験

(JIS K 6249)

時間 温度(h)	Mコート56			Sコート57			
	硬さ デュロメータA	引張強さ MPa	切断時伸び (%)	硬さ デュロメータA	引張強さ MPa	切断時伸び (%)	
初期	45	1.6	600	55	2.9	230	
150	10	47	1.7	570	56	3.1	210
	20	45	1.7	610	58	2.8	220
	30	47	1.7	580	56	2.9	220
200	10	47	1.7	580	57	3.0	200
	20	48	1.7	560	57	2.9	200
	30	49	1.8	550	59	3.1	190

(加熱後の外観には異常は認められません)

ゼロスパン(塗膜追従性)

膜厚(乾燥)	Mコート56	Sコート57
0.1(mm)	0.4(mm)	0.3(mm)
0.2	0.6	0.5
0.5	1.0	0.9
0.8	1.6	1.3
1.0	2.3	2.0

クラックに対する塗膜の追従性

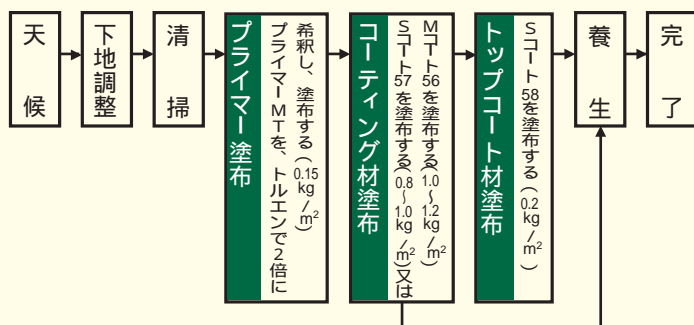
ゼロスパン試験材料



施工手順

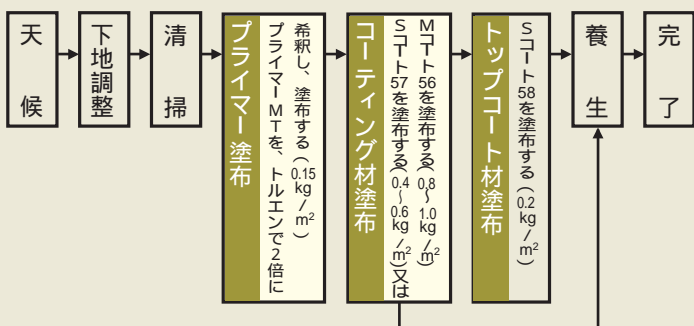
施工の手順は、Mコート56、Sコート57を使用する場合もほぼ同様ですが、施工箇所、基材の種類により、塗布量が若干異なります。正しい施工により、すぐれた性能が発揮されます。

屋上（コンクリート）の施工手順例



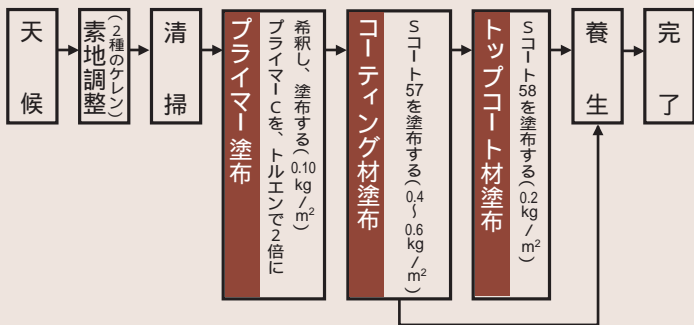
塗布量は、コンクリート下地の状態により異なります。

外壁（コンクリート）の施工手順例



塗布量は外壁のパターン等により異なります。

金属素地の施工手順例



塗布量はコーティング材の適用される部位により異なります。

荷 姿

品 名	荷 姿	消防法による危険物分類
Mコート56	1kg(ポリビン), 17kg(丸缶)	非危険物
Sコート57	1kg(丸缶), 20kg(角缶)	第4類 第2石油類
Sコート58	1kg(角缶), 16kg(角缶)	第4類 第1石油類

内容量1kgの製品については1梱包10本入りです。

プライマー

使用対象	プライマー名	性 状 (溶 剤)	乾燥時間 20(分)	使用量 (g/)	消防法による危険物分類
ガラス、ホーロー、タイル、磁器、金属	プライマーC	淡黄色透明液体 (工業用ガソリン、トルエン)	15以上	35	第4類 第1石油類
石材、モルタル、スレート、コンクリート、木材	プライマーMT	無色透明液体 (トルエン、イソプロパノール)	30以上	200	第4類 第1石油類

取扱い上の注意事項

品質・保存・取り扱いについて

- (1) 保管中に樹脂が沈降する場合がありますので、必ず攪拌してからご使用ください。
- (2) 降雨直後、または降雨が予想される場合の施工は、良好なシリコンゴム塗膜の形成を妨げますので、作業を中止するか、または雨のかからない養生を行ってください。
- (3) 被着材質に最も適する製品(コーティング材、プライマー)を選択してください。
- (4) 施工工具は、使用后直ちに清掃、洗浄し、調整しておいてください。
- (5) 熱・光・酸・アルカリなどによって変質することがあります。汚損を避け、密栓して、0~25 の雰囲気保存到してください。
- (6) 信越シリコンコーティング材(プライマー含む)には消防法の法規制を受けるものがありますので、火気厳禁など、法に基づいた保管・取り扱いが必要です。

安全・衛生について

- (1) ご使用前に製品安全データシート(MSDS)をお読みください。MSDSは、担当営業部署までご依頼ください。
- (2) 施工時には、ゴム手袋などを着用して皮膚、粘膜へ付着しないようご注意ください。付着した場合は、速やかにウエス、ガーゼなどで拭き取った後、石けんと流水で十分に洗い流してください。なお、換気が不十分な場所での作業においては、有機ガス用防毒マスクを着用下さい。
- (3) 溶剤を含む製品は、換気下で取り扱い、溶剤蒸気を吸わないように十分ご注意ください。
- (4) 万一、目に入った場合は直ちに大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

シリコンコーティング材についてのお問い合わせは

本社 シリコン事業本部 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1

営業第四部…………… ☎ (03)3246-5153

大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-11-4 日本興亜肥後橋ビル…………… ☎ (06)6444-8226

名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28 近鉄新名古屋ビル…………… ☎ (052)581-6515

福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出天神ビルディング…………… ☎ (092)781-0915

札幌駐在所 〒004-0843 札幌市清田区清田3条1丁目2-6 アフロディテ102号…………… ☎ (011)888-8533

ご用命は

- 当カタログのデータは、規格値ではありません。また記載内容は仕様変更などのため断りなく変更することがあります。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。なお、ここで紹介する用途はいかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
- 当社シリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、当該用途に使用することの安全性をご確認のうえご使用ください。なお、医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。
- このカタログに記載されているシリコン製品の輸出入に関する法的責任は全てお客様にあります。各国の輸出入に関する規定を事前に調査されることをお勧めいたします。
- 本資料を転載されるときは当社シリコン事業本部の承認を必要とします。



当社のシリコン製品は品質マネジメントシステムおよび環境マネジメントシステムの国際規格に基づき登録された下記事業所および工場にて開発・製造されています。

群馬事業所	ISO 9001	ISO 14001
	(JCQA-0004)	JCQA-E-0002)
直江津工場	ISO 9001	ISO 14001
	(JCQA-0018)	JCQA-E-0064)
武生工場	ISO 9001	ISO 14001
	(JQA-0479)	JQA-EM0298)

<http://www.silicone.jp/>